

平成29年6月定例会一般質問表

6 / 8、9、12

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	4 番 船 山 利 美 議 員	<p>1. ふるさと納税について</p> <p>(1) 「ふるさと納税」については新聞等で様々報道されているが、今般の総務大臣通知によって返礼品のあり方が急転する様相が出てきており、多くの自治体でようやく軌道に乗った取り組みも、地域の活性化や経済効果に水を差す懸念がある。「ふるさと納税制度」は所得によって控除される枠が決められており、これまでに税額控除の下限額が5,000円から2,000円に引き下げられ、平成27年には控除される限度額が約2倍に拡充し、併せて「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設された。更に、返礼品はそれぞれの自治体の創意工夫によって注目され、ネットショッピング化するなど、その結果「ふるさと納税バブル」といわれるほど飛躍的に寄付額を伸ばしてきた。総務省はこの過熱する返礼品合戦を総務大臣通知によって是正するように促している。このような経過や状況を踏まえ、今後の取り組みなどについて質問する。</p> <p>① 総務大臣通知で返礼品の趣旨に反すると指摘されているものに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金銭類似性の高いもの ・ 資産性の高いもの ・ 高価なもの ・ 寄付額に対する返礼品の調達価格の割合が高いものとなっている。指摘事項に対して、本市はどのように認識されておられるか。 <p>② 本市は現時点で何らかの対処はされておられるのか。</p> <p>③ 実績額の上位を占めてきた目玉としているものなどは、厳しい状況だと思うが、今後の取り組みとして見直しや是正を含めてどのように考えておられるか。</p> <p>④ 寄付金の使い道についてホームページで5項目載せているが、本市発展の用途に特化した項目を加え、いかに役立つかをアピールし応援を募ることも有効と思うがどうか。以上見解をお伺いする。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	4 番 船 山 利 美 議 員	<p>2. 平成30年のコメ政策転換における対応について</p> <p>(1) 農業は南陽市の基幹産業でもあり稲作は基幹作物になっている。国は平成30年からコメの生産数量目標を配分する生産調整、いわゆる減反政策をなくすコメ政策転換を決めており、農家からは不安の声も聞こえてくる。この背景としてTPPを見据え、海外に対抗できる競争力のある大規模農家の育成の必要性から進めてきたが、アメリカはTPPからの離脱を決めており、また、山間地域や条件の悪いところは大量の耕作放棄地の発生、更に日本型農業で培われてきた多面的機能が失われる懸念もあることから方針の再転換は不可避と考える。</p> <p>一方、減反政策廃止はコメ農家が自主的に生産調整することが基本で、国は情報提供や飼料用米の推進をとしている。このコメ政策転換には自治体の万全な対応が望まれることを踏まえ質問する。</p> <p>① 来年のコメ政策に対する周知など現在の本市の進捗状況はどうか。</p> <p>② 生産数量目標配分がなくなり、過剰作付の対応についての見解は。</p> <p>③ 国は自主的生産調整の取り組みとして、飼料用米生産により需給や米価の調整を図っているが、本市の見通しや受け入れ状況は万全か。</p> <p>④ 水田の大規模化で組合員の減少により堰の維持管理など、多面的機能の維持は図られるのか。</p> <p>以上見解をお伺いする。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	3 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>私は「南陽市に住んでみたい、行ってみたいと思えるような誇りある南陽市」をめざして※ロハスシティー南陽を唱え、一般質問を通し政策的な提案をしています。以下のことについて、市長にお伺いします。</p> <p>※ロハス:Lifestyles of Health and Sustainability 頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル「LOHAS」のこと。</p> <p>1. 高速交通網時代のスポーツと商工観光の振興施策について 今年中に米沢福島間のハイウェイが完成し、米沢福島間が20分で結ばれます。これは、車の流れが仙台圏からの流入も含めて劇的に変わります。本市にとっての産業、観光構造に大きな影響を与えます。以前から、私はスポーツ立市NANYOを唱えています。それにはハードとソフト事業をあわせて展開していくことが大事です。 市長に次のことをお伺いいたします。</p> <p>(1) スポーツ施設について</p> <p>① 多目的屋内スポーツ施設の誘致 県立施設として、誘致するための運動提起。</p> <p>② 花公園照明設備の設置 ナイトスポーツが簡単にできる本格的な照明設備の設置。</p> <p>③ 体育館アリーナの壁を体育館用に改修 防球ネットなしで手軽にフットサルが楽しめるように壁の改修。</p> <p>④ 南陽スカイパークをナショナルセンターにする運動の提起 2024年のオリンピック・パラリンピックに向けた国立施設の誘致運動の提起。</p> <p>⑤ 十分一山から高ツムジ山スカイエリアまでの舗装化 高ツムジ山スカイエリアは、パラグライダーなどの滑走地として優れているのはもちろん、360度見渡せるパノラマは、飯豊連峰、朝日連峰、吾妻山そして遠くは月山までが見渡せる絶景スポット。舗装化することで多くの観光客を見込まれる。現在は、未舗装のため雨が降ると土砂が流れるなどの弊害が多い。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	3 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>(2) 県立商工団地の誘致 縦軸に東北中央自動車道、横軸に新潟山形南部連絡道路がクロスする南陽・高畠インターチェンジは日本海と太平洋を結ぶ大変重要な場所です。絶好の立地条件をアピールしてこの付近に県立の商工団地を誘致することを提案します。 人口減少を食い止め産業の振興はもちろん雇用の確保を図るためにも、有効かつ重要な政策と思います。</p> <p>(3) 赤湯温泉のシンボルとしての温泉施設等 旧市民会館の場所は赤湯温泉のだ真ん中で、まさしくシンボルとしての跡地利用を考えていくべきです。私は次のことを提案しますが市長の考えをお伺いします。</p> <p>① 温泉施設の建設 現在の3つの公衆浴場（烏帽子の湯、あずま湯、とわの湯）と老人いこいの家も古くなり建て替え時期です。 それぞれの場所に建て替えるには、コストがかかるため4施設を統合して、観光客も入浴できる温泉施設を誘客のシンボルとして建設する。</p> <p>② 駐車場、催事場の確保 赤湯温泉への車での来客は、特に夜に多いので賑わいを助長するためにも駐車場の確保が必要。催事空間としても活用できる。 また、花見シーズンの駐車場として提供し、まちの散策を含めて観光地をアピールする。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>1. 人口減少の歯止め対策について 急激な人口減少社会の中、本市も例外ではなく人口減少のスピードは予想をはるかに超えるものとなっています。</p> <p>市で策定した第5次南陽市総合計画では、平成32年度の人口目標値を32,000人としておりましたが、5月1日時点の南陽市の人口は31,945人と目標年次を3年も上回るペースであり、このままでは目標年次の平成32年時点の本市人口は目標を1,000人下回る31,000人程度になる可能性が出てきております。</p> <p>第5次南陽市総合計画では基本構想の中で「人口の減少をくい止め、活力ある地域の形成」を重要課題とされている訳ですが、今後予想される一層の人口減少をくい止めるために、更なる対策は不可欠と考えます。</p> <p>そこで、今後の人口減少に対する件について何点か伺います。</p> <p>(1) 他の自治体では、ホームページに移住希望者を対象とした就職や住まいの斡旋を行っている場合もあるが、本市の現状は。</p> <p>(2) 総務省では平成27年から「全国移住ナビ」を暫定運用しているが、本市の情報は掲載されているか。</p> <p>(3) 本市のホームページから「全国移住ナビ」などへ直接アクセスは可能か。現在アクセスができない場合は今後対応を考えているか。</p> <p>(4) 人口の社会減の原因となる転出者の防止策について、本市の具体的な取り組みは。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>2. 烏帽子山公園の桜の保全について</p> <p>今年も県内に留まらず、国内外からのお客様で大変な賑わいを見せた桜まつりでしたが、今年は昨年と比べて桜の開花状況が悪く、せっかく来ていただいた観光客の皆様本来のきれいな烏帽子山の桜を見ていただけなかったことは非常に残念だったと考えます。</p> <p>今年の桜があまり花をつけなかった原因は、従来から言われている「ウソ鳥」に花芽を食べられてしまうことが大きな要因として考えられます。確かに鳥も桜も自然の一部であり、その意味では鳥の食害にあった桜を自然の状態としてとらえる考え方もあるとは思いますが、観光資源として烏帽子山の桜を考えた場合、毎年花の開花状況が違い、それに一喜一憂することは問題があると考えます。</p> <p>また、現在の烏帽子山公園の桜で最も多いと思われる「ソメイヨシノ」は病害虫に弱く、樹の寿命も短いものでは約70年といわれます。烏帽子山の桜は明治の終わりごろから植樹がされており、今後樹勢の衰えも懸念されると考えられ、一層の対策が必要と考えます。</p> <p>そこで、今後の烏帽子山の桜の保全について何点か伺います。</p> <p>(1) 本市での桜の鳥害に対する現状の取り組みは。</p> <p>(2) 市では本年度の施政方針の中で桜の樹勢回復に取り組むとしていますが、その具体的な取り組みは。</p> <p>(3) 現状の対策は最大の効果を得られているとは考え難いが、来年以降、烏帽子山公園の桜が本来の姿を取り戻すための今後の取り組みは。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	6 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>1. 高齢者の運転免許証の返納しやすい環境整備について</p> <p>(1) 運転免許証自主返納支援について 運転免許証の自主返納制度は、平成10年の道路交通法改正によりスタートされました。それに伴い、各都道府県にて返納された方に対して支援する「高齢者運転免許自主返納サポート事業」が開始されました。自主返納についての理由はさまざまなケースがありますが、運転に自信が持てなくなり、不安を感じたり、身体の衰えを感じ始めた。また、家族からの意見などが返納の理由の大半とのこと。社会問題にもなっている高齢者による高速道路や一般道での逆走、ブレーキとアクセルの踏み間違いなどで起こるコンビニやスーパー、また、民家への突入などその多くの事故は高齢者によるもの。しかし、病院や買い物など、さまざまな用事があれば交通手段として自家用車に頼らざるを得ないのも実情としてあり、身体的不安を抱えながらも、やむなく運転される方もおられるのではないかと。そうした不安や不便さを、ある程度解消できる支援を行政としてすべきではないかと思えます。</p> <p>① 本市において、高齢者運転免許証自主返納の現状について伺います。</p> <p>② 現在行なっている本市の取り組みについて伺います。</p> <p>③ 高齢者の運転免許証自主返納支援について、今後の取り組みを伺います。</p> <p>④ 運転経歴証明書の交付手数料として1,000円の費用が必要となります。それに係る費用負担を助成できないか伺います。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	6 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>2. インバウンド事業（外国人の誘客）について</p> <p>(1) 米国のエンターテインメント音楽集団「ブラスト！」公演から本市の魅力発信について</p> <p>① 6月1日から25日まで「ブラスト！」のリハーサル無料見学会がシェルターなんようホールで行われ、南陽公演から全国で公演されることは、本市にとっての情報発信できる絶好のチャンスであり、インバウンド事業推進の起爆剤となると思うのですが、市長はこの機会をどのように捉え、また、外国人の誘客に繋げていくのか考えを伺います。</p> <p>② 無料Wi-Fiの設置箇所の拡大については、赤湯駅とゆーなびからころ館の2カ所に設置されました。 しかし、受信範囲が狭いため（出力が低いため）なかなかスマートフォンやタブレットが使えないとの声も聞きます。これからのインバウンド事業に合わせた拡大の取り組みについて伺います。</p> <p>3. 本市オリジナルの婚姻届の作成について</p> <p>(1) 婚活を促す一助としてのオリジナル届出様式について 人口減少は全国的にも大きな課題であり、未婚化、晩婚化、少子化は本市にとっても頭を抱えているのが現状ではないのか。それだけになお一層の力を入れて、結婚、妊娠、出産、子育て支援などが求められています。婚姻届が既製のペーパーではなく、オリジナルの婚姻届用紙であれば届出するにも喜びを感じてもらえるのではないかと。また、オリジナルの婚姻届に加えて「手元に残せる記念用婚姻届」など発行することによってカップルにはさらに感激してもらえないか。話題性もあり、まだ置賜地域では実施されていないと思いますので、本市のPRも兼ねるとともに、婚活へのアピール要素として、弾みがつく可能性もあると考えますが、市長の見解を伺います。</p>	市長 関係課長 市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	9 番 川 合 猛 議 員	<p>1. 一級河川前川河川改修について</p> <p>(1) 今年度も県に対しての重要要望事項に取り上げていただき誠にありがとうございます。26年、27年、28年と浚渫工事を実施、29年度も予算化されたと聞いております。そのような中、大きな問題が出てまいりました。現在使用していない堰が2つあります。そう簡単には撤去することのできない堰です。県との話し合いでは原則設置者が撤去することなのですが、現在設置者も利用者もいなく田も現存していません。市や県にお願いをして撤去してもらえないのかもしれませんが、どうにもならないのでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>(2) 平成30年度に東北中央自動車道が供用開始となります。それはそれで大変喜ばしいことなのですが、ここに来て新たな問題が出てまいりました。降雨時の高速道路からの路面及び路肩よりの排水が、すべて前川に集中して流れ込みます。現在でも梅雨時の大雨や台風時の大雨など前川が氾濫いたします。高速道路の分、確実に増えることが予想されます。どのように対応したら良いのかお伺いいたします。</p> <p>2. スマートインターチェンジの整備について</p> <p>(1) このところPAに接続してのスマートインターチェンジの話が大変盛り上がっております。ぜひ実現に向け頑張ってくださいと思います。さまざまな経済効果、観光のお客様、物流の面などはかり知れない効果が期待できるものと思います。私も地元として強く要望いたしますが市としてはどのように考えておりますか。お伺いいたします。</p> <p>(2) 現在、冬期間の閉鎖が実施されております上野新田線俗にいう玉坂街道ですが、今年度冬期閉鎖路線解消検討業務で上がっておりますが、どのように進めていくのでしょうか。また、冬期間の閉鎖により、朝夕の鳥上坂の慢性的な渋滞となっており、1年でも早く冬期間の閉鎖解消をお願いしたいのですが、もし中川地区にスマートインターチェンジができますと、市にとって最重要道路</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>市 長 関係課長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	9 番 川 合 猛 議 員	<p>となります。大型バス、大型トラック等道路幅を広く取り勾配を少なく、すべての車が安全に通行可能なひとつ上の道路にして欲しいと思いますが、当局の考えを伺います。</p> <p>3. 白竜湖景観の保全について</p> <p>(1) 今回「未来に伝える山形の宝」により白竜湖のおはなしという小冊子をいただきました。それはそれで大変良かったです。白竜湖の植物、また、白竜湖に住む魚など何十年かぶりに調査が実施されました。それらの結果を踏まえ、今後どのようにしていかれるのかお伺いいたします。</p> <p>(2) 平成13年11月、市地区長連絡協議会より「白竜湖を昔の姿に戻してほしい」旨の陳情請願書が南陽市民20,350名の署名とともに県知事に出されました。翌14年よりさまざまな事業を実施、ヒシの除去、水質検査、水質浄化対策、木歩道の設置当初30m、18年度100m、その5ヵ年で500mの計画でありました。しかし、18年4月100mの木歩道設置の実施の過程で、山大教授より異議を唱えられ、何も手をつけてはいけなくなり現在に至っています。特に木歩道30mについては、当初許可されたものとして修理したり、新しくして現存しています。その時、木歩道による影響の推移を長い期間で確認してもらいたい内容の意見を書面にて知事に提出とあります。その時から11年経過しており、果たして現存木歩道が植生等に影響はあったのでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>(3) 前にも申し上げたのですが、和歌山県新宮市の浮島の森についてですが、市長も視察に行かれたと聞いておりますが、実際見てこられて、どう感じられましたでしょうか。お伺いいたします。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	15番 佐藤 明 議員	<p>1. 市長選挙について</p> <p>(1) 来年7月行われる市長選挙出馬に対する基本のご見解は。</p> <p>(2) 対話のある市政、身の丈に合った市政等の諸政策を掲げ、3年間市政発展に奮闘されてきました。残された期間公約実現にどう対応されるのか。</p> <p>(3) 白岩市政3年間の評価、公約の実現状況、市政の課題は。</p>	市長
		<p>2. 人口減と少子化対策について</p> <p>(1) 国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省所管）や総務省が、日本の人口についての推計を相次いで発表しました。いずれの推計も、少子化と人口減に歯止めがかかっていないことを改めて裏付ける内容となっています。安心して子どもを産み育てる社会になっていない現状は、未来にとって深刻であります。男女ともに希望をもって子育てできる雇用のルールづくり、保育所の増設など環境整備を抜本的に強めるなど、現状打開へ向け政治が役割を果たすことがいよいよ急務となっています。白岩市長のご見解を。</p> <p>(2) 南陽市の状況と対策、計画はどのようなになっているのか。</p>	市長
		<p>3. 介護保険について</p> <p>(1) 参院厚生労働委員会は25日、一定所得以上の人に3割の利用料負担を求める介護保険法等の改正案を、与党の賛成多数で可決しました。そのことによる南陽市の影響はどのように試算されておられるか。また、2割負担の方はどうなっているのか。</p> <p>(2) 介護職員の人材不足も懸念されておりますが、どのように対応されるのか。</p> <p>(3) 来年4月からの第7期計画を策定中かと存じますが、どのような計画か。また、保険料の基準額をどのように算定されるのか。</p>	市長